

「浪漫」と「ロマン」の意味変遷考察

—Khcoder を活用して—

漢陽サイバー大学校 朴孝庚

Phk0827@hotmail.com

1. はじめに

韓国語で「浪漫」という漢語は「낭만(ナンマン)」と読む。「로망(ロマン)」ということばも使われているが、意味領域は少し異なる。「인생의 로망, 낭만의 도시 파리 여행 (人生の『ロマン』、『浪漫』の都市パリ—旅行)」などのような旅行会社の宣伝文句も広く用いられており、現代の韓国人には「낭만(ナンマン)」と「로망(ロマン)」は別々の単語として意識されている。「浪漫 (ナンマン)」と「ロマン」は両方とも韓国語辞典に見出し語として載っている。

○「浪漫 (ナンマン)」¹

: 현실에 매이지 않고 감상적이고 이상적으로 사물을 대하는 태도나 심리. 또는 그런 분위기.

〔日本語訳〕 現実に縛らず鑑賞的、理想的に物事に対する態度や心理。またはそのような雰囲気。

○「ロマン」

: 12~13세기 중세 유럽에서 발생한 통속 소설. 애정담, 무용담을 중심으로 하면서 전기적 (傳奇的)이고 공상적인 요소가 많은 것이 특징'

〔日本語訳〕 12~13世紀の中世ヨーロッパで発生した通俗小説。愛情堀、冒険談を中心にしながら、電氣的（傳奇的）であり、空想的な要素が多いのが特徴。

「浪漫 (ナンマン)」の解説としては適当だと思われるが、「ロマン」は現在韓国で用いられている意味、つまり「実現したい願望や理想」としては記述されていない。また「浪漫 (ナンマン)」は、日本から「ロマンティズム」の音訳語「浪漫主義」が輸入され、広く使われるようになったことが明らかになっているが、「ロマン」についてはまだ不明な点が多い。フランス語「roman」から来ているという説も目につくが、フランス語「roman」が突如あらわれ広く使われているとは考えにくく、「浪漫」の受容と定着の過程で生じた意味領域の分化または特化の事例ではないかと考えている。本発表では、日本語「浪漫 (ロマン)」が韓国語に受容され定着する過程で、どのような変遷過程をたどってきたのかについて調べる。同じ漢字文化圏とはいえども、日本語と韓国語という、異なる漢字音の体系や社会事情の中で、どのような変化のバリエーションが起こり得るのかについても考察したい。

2. 先行研究および研究方法

浪漫主義という文芸思潮に関する先行研究は、韓国と日本の両方で活発に行われている。しかし、「浪漫 (ロマン・ナンマン)」という個別な単語を研究対象にしているものはあまり多くない。韓国では大衆歌謡<낭만에 대하여(浪漫について)>が流行し、「浪漫」に関連した興味深い考察が行われた。キム・ジンス (2001) は、<낭만에 대하여(浪漫について)>の歌詞を挙げ、憧れとノスタルジア、未練と恋しさ、懐かしさ、異国情緒など、現代の韓国人が「浪漫」に対して描いている世界を網羅しており、文芸思潮の浪漫主義と「浪漫」という感情は相通じる部分があると指摘する。

¹日本語訳は筆者による。

「浪漫」という言葉の成立のために先行研究では、金敬鎬（2003）を挙げることができる。「浪漫」は明治期に「roman」の音訳語として造語されたと言われてきたが、中国宋時代の漢詩（漢詩）に同じ語形を見つけることができるという。しかし「縦情・任意」「猶爛漫」などの意味で、近代以降の「浪漫」とは異なると指摘する。「浪漫」について語学的な分析を試みた点で大きな示唆を得ることができるが、考察した資料が辞書の見出し語と用例に限られており、成立と定着に関していくつかの疑問が生じる。

続いて朴孝庚（2017・2019）では、調査対象を拡大し「浪漫」の成立だけでなく定着過程と変遷についても考察を試みた。関連用語として「ロマンス・ロマンチック（ロマンティック）・ロマンチズム（ロマンティズム）・浪漫・浪漫主義・浪漫派・浪漫的」を挙げ、朝日新聞2の創刊号から1989年までの用例を中心に変遷の過程をたどった。朝日新聞の創刊前の用例については「新潮明治の文豪・大正の文豪」（CDrom）、総合雑誌『太陽』（CDrom）、明治期と大正期の新語関連辞書などから補足して考察することにした。調査した関連用語は1950年代をさかいに大きな変化がみえ、前半は「ロマンス」という語形が後半は「ロマン」が多く用いられていることが分かった。また、輸入当時は「ろロマンティズム」「浪漫主義」などの文芸思潮を中心に用例があらわれるが、文学・芸術などの文化の分野だけでなく、政治・経済・社会・国際・科学・スポーツなどの様々な分野の記事にも多く登場するようになる。特に、本や演劇、映画、デパート、旅行会社の広告にも多く使用されることになり、資本主義の消費社会の展開に合わせて変化の様子を見せていると言えよう。

上記の研究は、主に浪漫の成立過程と使用分野の変遷についての調査で、単語の意味領域を詳しく考察できなかったともいえる。今発表では日本語の「浪漫」と「ロマン」との比較を念頭に、韓国語の「낭만（ナンマン：浪漫の音読み）」と「로망（ろまん）」の分析を試みる。韓国に輸入され定着した過程を概観し、両単語の用例を分析する。また、意味の違いを明らかにするためにKHcoder³を活用することにした。KHcoderは「浪漫（ナンマン）」と「로망（ろまん）」の共起性のつよい単語を視覚的に比較するのにもっとも適していると思われる。

3. 韓国の「浪漫（ナンマン）」と「ロマン」

まず、日本での「浪漫（ロマン）」関連用語と比較するため、東亜日報の創刊号4から2020年12月31日までの記事を対象にキーワード検索5を行った。検索したキーワードを以下に示す。

東亜日報の検索では浪漫系の記事が1,991件、ロマンス・ロマン系の記事が1,044件ヒットした。浪漫系は「浪漫主義・浪漫主義者・浪漫的・浪漫+〇〇、浪漫+〇、浪漫하다、浪漫」など、多様な形が用いられており、現代に近づくにつれその数が増加している。一方、ロマンス・ロマン系は、로

² 朝日新聞の記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」サイトで創刊号からキーワード検索を利用し用例を抽出した。<http://database.asahi.com/library2/>

³ 「KHCoder」は樋口耕一により開発された、Rなどのテキスト・マイニングで常用されるプログラミング言語をメニュー形式で操作して、結果を視覚的に表示できるプログラムで、日本語・英語・中国語・韓国語等13カ国語を処理できる。

⁴ 東亜日報は1920年4月1日に創刊号をだしている。1919年の3・1独立運動の後、日本は植民地朝鮮に対する政策を文化統治に転じ、1920年代には朝鮮語で書かれた新聞や雑誌の創刊が相次いだ。現在、韓国で有力誌とされる朝鮮日報と東亜日報は、ともにこういった状況の中で創刊したのである。

⁵ 東亜日報の記事検索はNaver news libraryサイトを利用した。Naverで運営している過去の新聞検索サービスで、1920年から1999年までの主要な新聞の記事が検索できる。
<https://newslibrary.naver.com/search/searchByDate.nhn>

만스/로맨스/로망스 (ロマンス) は173件, 로만티시즘/로맨티시즘 (로マンティシズム) は167件, 로만틱/로맨틱 (로マンチック) は478件, 로만/로망 (로マン) 226件の内訳を見させている。

3. 1 輸入期

韓国で「로マン티시즘」という用語が初めて紹介されたのは、1907年に出版された俞承兼訳の『中等萬國史』である。しかし、歴史教科書に示された用語を提示しただけで、その概念の定義や具体的な説明はない。「浪漫主義」の最初の用例は、文芸雑誌『泰西文藝新報』第4号(1918年10月26日)の「最近의 泰西文壇」という記事に紹介された文芸思潮「浪漫主義(랑만주의)」である。輸入当時は「浪漫主義」「浪漫的」のほかに「魯漫主義(로만주의)」「魯漫的(로만적)」も用いられていたが、1920年代前半、本格的に概念の定義や性質の説明が行われるようになってからは「浪漫主義」が一般的な表記となった。また、次の用例で確認できる通り、漢字「浪漫」とハングル表記が併記されている場合も多い。

○「獨逸의 浪漫(로 | 만 틱크)樂派의 先覺者」(東亜日報 1920年5月3日)

1920年代は浪漫主義だけではなく、さまざまな文芸思潮が同時に紹介されていた時期で、西洋の浪漫主義とは違い、多様な思潮の様子が浪漫主義に混流されていたという。1921年に総合雑誌『開闢』に連載された金岸曙の「近代文藝」では、浪漫主義と古典主義を「理性と感性、現実と夢、客観と主観、規制と自律、古代と近代」のような言葉で対比しその差を説明している。このように、他の思潮と比較を通じて紹介をしている文章が多い。

3. 2 「浪漫」系の展開

東亜日報の用例は①1920年の創刊号から1940年の閉刊まで、②1945年の復刊以降と大きく二つに分けることができる。①の期間では、「浪漫主義」の用例が圧倒的に多く「浪漫主義的」という形も多く用いられている。「浪漫的」「浪漫精神」「浪漫樂派」などの他の用例も文学・音楽などの文芸関連の分野で主に使われている。1930年代後半に特に多くあらわれる。また、日本の場合「浪漫」という二字漢語が独自のに使われるのは、「浪漫主義」が輸入され広く使われるようになってから時間が経ってからだと言えるが、韓国の場合1920年代にも「浪漫」の独自の用例が目につく。

○形式보다 内容, 浪漫보다 現實, 人工보다 自然을, 重히 녀기고 힘쓴다 (1926年12月5日)

○학설에 순절殉節하기 때문에 주의에 구속받기 때문에 (혹)은 浪漫(낭만)에或(혹)은惰落等(타락등)에서 到底(도저)히도라서지를 못하느니라잇다하면 그는그만두고라도 趣味(취지)에是認(시인)하느니라잇거든 잇는대로는한덩어리가되야 보자는말이다 (1926年12月30日)

また、日本と違う使い方として「浪漫」に「する」にあたる「하다」がついて、動詞として機能していたことである。

○地上(지상)에서 살아아할"人間(인간)"임에不拘(불구)하고 地上(지상)에서 不斷(부단)한 채택으로 내어물니는 차라리 浪漫(낭만)하는 心情(심정)! 이런 지향도 없고 잇는곳도 알수없는 마음의故郷(고향)에 (1938年3月24日)

しかし、こういった하다動詞に結合する用例は1970年代以降は見えなくなる。

②の期間では、1950年代から本格的に「浪漫」が独自の形で使われるようになり、「浪漫主義」関係の用例が少なくなる。また、1960年代後半からは広告に用いられた用例が多い。

3.3 「ロマンス」と「ロマン」の展開

日本の朝日新聞の調査では、1950年代をさかいに前半は「ロマンス」が、後半は「ロマン」が圧倒的に多く使われたことが大きな特徴であった。韓国の東亜日報では、「ロマンス」173件と「ロマン」226件と、数自体が少なく、用例の内容としては日本の新聞記事と類似したものが多い。「ロマンス」の場合、特に歴史あるいは冒険にまつわる用例が多く、1930年には「史上(사상)의 로맨스 李朝篇(이조편)」という連載記事が22件も登場した。これは恋愛物語を指すのではなく、韓国の朝鮮時代の波乱万丈な人物の生涯を紹介するものである。1945年復刊してからはもっぱら恋愛物語に用いられるようになる。

一方、「ロマン」は1940年以前は7件しか用いられていないうえ、1945年以降の用例でも「アンチ・ロマン」「ヌーボ・ロマン」など、フランスの文学運動に関する紹介で用いられる用例が多い。また、日本のロマン関連記事でよく用いられていた広告の「국경을 초월한 사랑의 일대로망 (国境を越えた愛の一大ロマン)」「전화 속에서 피어난 젊은이의 아름다운 꿈과 사랑의 대로망 (戦火の中で咲いた若者の美しい夢と愛の大ロマン)」などの用例が目立つ。数少ないながら、1980年代まで「雄大な、規模の大きい、英雄的な」などの表現と一緒に用いられる用例が持続的にあらわれる。従来「ロマンス」が持っていた意味領域の中で「夢・目標・冒険などに対する憧れ」が「ロマン」に移ってきたとも思われる。

3.4 韓国の「ロマン」の特化

韓国語の「ロマン」は2000年代に入ってから急激にその用例が増える。従来の意味から「実現したい願望や理想」へと具体化されたものが目につく。出版された韓国語辞典ではないが、韓国の国立国語院のサイトでテスト運営⁶されている「우리말샘 (ウリマルセム)」では、「ロマン」の項目に「実現したい願望や理想」という記述が最近加わった。次のよう用例を参照されたい。

○드라마를 통해 연애에 대한 로망이 생겼냐고 묻자 000은 “로망이야 있다. 같이 이룰 수 있는 사람이 없어 문제다. 남자 친구가 생겼으면 좋겠다고 생각한 지가 몇 년째다.”라며 웃었다.《뉴스엔 2016년 11월》

〔日本語訳〕ドラマを通じて恋愛に対するロマンができたかと尋ねると、000は「ロマンぐらいはあるよ。一緒に達成できる人がいないから問題だ。彼氏ができたらいいなと思い始めたのも、もう数年前のことだ」と笑った。

○여유는 물론이고 그림 같은 풍경과 다양한 볼거리, 먹거리가 가득한 유럽에서의 휴식은 단연 로망으로 꼽힌다.《동아일보 2016년 12월》

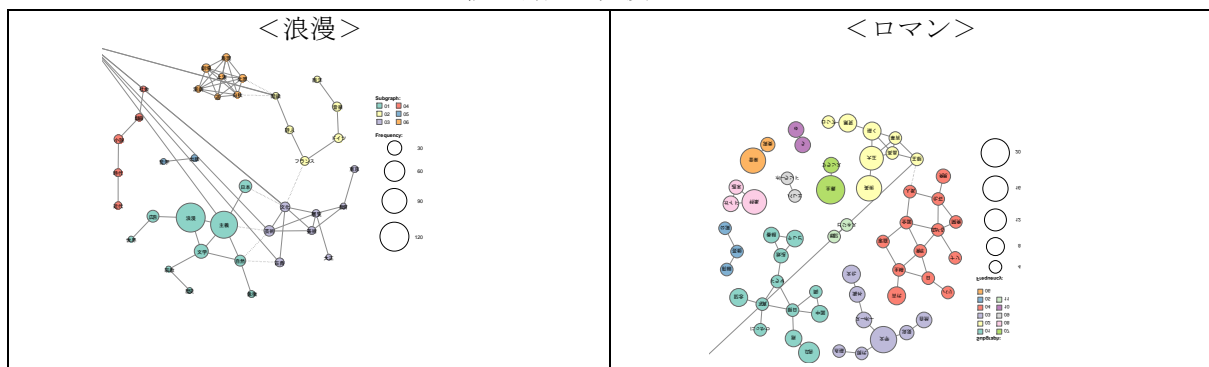
〔日本語訳〕余裕はもちろん、絵のような景色や様々な観光スポット、グルメでいっぱいな欧州での休憩は、断然ロマンとして挙げられる。

⁶ 一般の人も項目の作成に参加できる辞書のサイトであり、正式な出版の形をとっている辞書ではない。

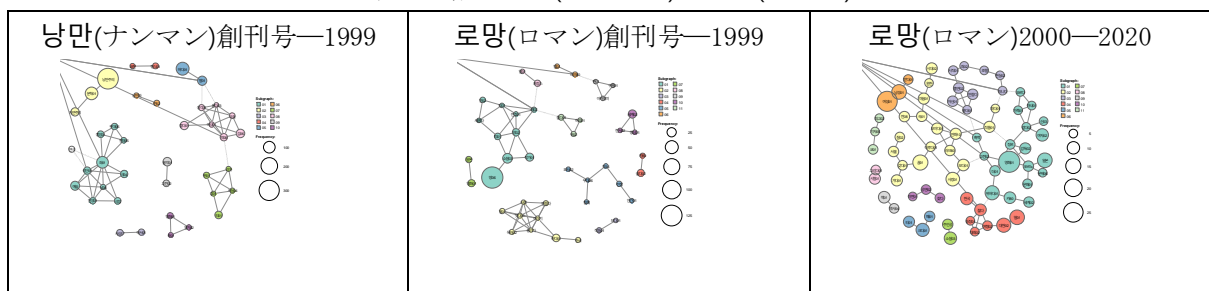
「남자의 로망(男のロマン)・여성의 로망(女性のロマン)」「로커로서의 로망(ロッカとしてのロマン)」の形や「집에 대한 나의 로망 (家に関する私のロマン)」などの用例は一般的に用いられている。「浪漫」と言い換えはできない用例である。日本語では「浪漫（ロマン）」に括られる意味領域だと思われ、韓国ででの分化・特化に注目したい。植民地支配に大量に輸入された言葉からつながる、新しい言葉の交流のし視点からも考えられる機会になりうると思う。時期的にはいわゆる韓国の「日本大衆文化開放」の時期と相まっている⁷。影響をうけての変化だったのか、どういう影響だったのかなどについては慎重に議論を進める必要がある。

3. 5 Khcoderの共起ネットワーク

<朝日新聞の浪漫とロマン>



<東亜日報의 낭만(ナンマン)と로망(ロマン)>



* 共起ネットワークの拡大図は以下のurlで公開している。

https://hycu-my.sharepoint.com/:w/g/personal/1130002_hycu_ac_kr/EbQXi2TFH-REmVqBjOja_XgB_XSVfpwdw3mt4YmXiKiCAA?e=qZsajj

4. 終わりに

本発表では、日本語「浪漫（ロマン）」が韓国語に受容され定着する過程で、どのような変遷過程をたどってきたのかについて調べた。韓国で本格的に用いられるようになったのは、1920年代からであり、「浪漫主義」の形がもっとも多かった。東亜日報の検索では浪漫系の記事が1,991件、ロマンス・ロマン系の記事が1,044件ヒットした。浪漫系は「浪漫主義・浪漫主義者・浪漫的・浪漫+○

⁷ 1998年から2002年にわたり段階的に進められた。2001年7月、日本の歴史教科書歪曲是正拒否に対する対応措置により開放日程が中断されたが、2003年に日本文化開放に関する議論が再び行われ、2004年から映画、レコード、ゲーム部門が全面開放された。

○、浪漫+○、浪漫하다、浪漫」など、多様な形が用いられており、現代に近づくにつれその数が増加していることがわかる。一方、ロマンス・ロマン系は、로만스/로맨스/로망스（ロマンス）は173件、로만티시즘/로맨티시즘（ロマンティシズム）は167件、로만틱/로맨틱（ロマンチック）は478件、로만/로망（ロマン）226件の内訳を見せており、増加傾向にあるとはいいがたい。こういった傾向は日本の朝日新聞の調査とは反対と言える。朝日新聞の場合、漢字表記の「浪漫系」はカタカナの「ロマン系」より少なく、「ロマン」の増加傾向がい著しかった。

「浪漫」は「浪漫主義」から独自の意味用法で定着、「ロマンス・ロマン」は日本語と類似した意味と用法を持っていたが、活発に用いられていたとはいいがたく、最近「ロマン」の実現したい願望、理想の意味が特化してきたが、今後、植民地支配に大量に輸入された言葉からつながる、新しい言葉の交流のし視点からの研究にも進めていきたい。

【参考文献および参考サイト】

김진수 (2001) 『우리는 왜 지금 낭만주의를 이야기하는가』책세상

金敬鎬 (2003) 「음역어 “낭만”의 성립과 정착 과정에 대한 일고찰」『일본어학연구』8 한국일본어학회

남운 (2009) 「대중가요에 나타난 낭만성 연구-최백호의 ‘낭만에 대하여’를 중심으로」『청람어문연구』

朴孝庚 (2017) 「近代語『浪漫』の成立と変遷」『日本言語文化』41 韓国日本言語文化学会

이한섭 (2014) 『일본어에서 온 우리말 사전』고려대학교 출판부

데이비드 블레이니 브라운 저 강주현 역 (2004) 『낭만주의』한길아트

落合由治 (2020) 「AI 技術からみた日本語学、日本語教育研究の展望と課題—日本語教育の繋がりと協働の新領域をめざして—」

『일본어교육연구』제 50 집 pp. 23-34, 한국일어교육학회

牛澤賢二 (2018) 『やってみよう テキストマイニング』朝倉書店 2021 年増訂版

末吉美喜 (2019) 『テキストマイニング入門 Excel と KH Coder でわかるデータ分析』オーム社 pp. 157-206

樋口耕一 (2020) 「多言語に対応した計量テキスト分析ソフトウェア KH Coder—アンケート自由回答の分析から言語学的分析まで—」『韓国日本語学会第 41・42 回 国際学術発表大会 要旨集』pp. 2-7

樺島忠夫 (1984) 『明治大正新語俗語辞典』東京堂出版

総郷正明・飛田良文編 (1986) 『明治のことば辞典』東京堂出版

陳力衛 (2005) 「新漢語の現代」『概説現代日本のことば』朝倉書店

米川明彦編 (2002) 『明治・大正・昭和の新語・流行語辞典』三省堂

(韓国) 標準國語大辭典 檢索 <http://stdweb2.koreangok.kr/search/View.jsp?idx=418405>

朝日新聞データベース <http://database.asahi.com/library2/>

Naver ニュースライブラリー <https://newslibrary.naver.com/search/searchByDate.nhn>

東亞日報 <https://www.donga.com/>